



問題行動を未然防止! 育てる教育相談研修講座

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

【本研修の目的】 児童生徒の自己指導能力を育成するために、集団指導に焦点を当てた理論と方法を学び、学校生活の様々な場面で児童生徒を指導・援助できる資質、能力を育成する。

【受講者数と内訳】 70人（小学校：31人，中学校：21人，中等教育学校：1人，高等学校：11人，特別支援学校：6人）



第1日を実施しました！



○講義・演習「集団のアセスメントとその対応」



児童生徒を観察し、その時々の様子・状態を見取ることをアセスメントと言いますが、児童生徒と毎日接する教員は、とかく直感と経験によるアセスメントを行いがちです。生徒の変化を経験に裏打ちされた直感で見取る力も必要ですが、児童生徒が回答したアンケート結果等の客観性の高いデータから児童生徒の様子・状態を見取っていくことも大切です。

以上のような観点から、東京理科大学教授の八並光俊先生にご講義いただきました。

講義に対する受講者の一人の感想には「八

並先生のご講義を受けて、アセスメントの重要性を感じることができました。多くの手段で、生徒をサポートしていきたいと思いました。」との記述が見られました。アセスメントの活用の仕方を工夫し、子どもたちを指導していこうとする意欲の向上がうかがえました。

○演習「育てる教育相談①『学級の雰囲気をつくる』」

午後は児童生徒の立場に立って、ロールプレイやクラス会議を体験しました。クラス会議は、学級活動の話合い活動と違って、学級全体に関わる議題だけでなく「朝、起きられなくて困っている。どうすれば早く起きられるか？」といった個人的な議題についても話し合うことができる人間関係を深めるための一手段です。今回の演習では、全受講者が考えた議題の中からクラス会議で話し合う議題を選びました。和やかな雰囲気のもと、受講者から出された議題に対して、全員からたくさんアイデアが出されていました。

クラス会議の体験を終えた受講者からは「クラス会議で自分の出した議題を取り上げてもらい、温かいコメントや様々なアイデアを得ることができ、とても良かったです。」「クラス会議を実際にやってみて感じたことは、よい雰囲気の集団を形成するのに非常に有効だということだ。ロング・ホームルーム等で早速実践してみたい！」等の受講者の熱を帯びた感想が多く寄せられました。クラス会議を開催することで、学級・ホームルームのよりよい雰囲気づくりが進み、児童生徒の問題行動の未然防止に役立つことを実感したようです。

是非、今回体験したクラス会議を各学校に広めてほしいと思います。